

News Release

Kanadevia
Technology for people and planet

カナデビア株式会社
2024年10月2日

カナデビア株式会社、『TNFD レポート 2024』を発行

カナデビア株式会社は、このほど、自然関連財務情報開示タスクフォース (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures、以下、TNFD) のフレームワークに基づき、『カナデビア株式会社 TNFD レポート 2024』を発行いたしました。

(https://www.kanadevia.com/ir/data/pdf/tnfd2024_J.pdf)

本レポートでは、事業規模と自然資本への影響を考慮に入れ、主力事業であるごみ焼却発電を中心とした Waste to Energy 事業とバイオマス発電事業を対象としました。当社事業とバリューチェーンの環境負荷を分析し、さらにリスクと機会の分析から事業戦略および到達すべき世界観を描きました。

当社グループは、「技術の力で、人類と自然の調和に挑む」をブランドコンセプトとし、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行っています。「環境復元力の最大化」を成功の柱(Materiality)と位置づけ、人類が生存できる安全な活動領域とその限界点を示すプラネタリー・バウンダリーの考え方(*注)を基に、自社の事業活動とバリューチェーン全体の環境負荷を、それぞれの国/地域が本来有する環境復元力の範囲内にとどめることを目指します。

*プラネタリー・バウンダリー(Planetary boundaries)は、ストックホルム・レジリエンス・センターによって提唱されている、「地球の環境に変化(とくに人間の影響)が加わっても、もとの状態に戻り、地球環境が安定した状態を保てる限界の範囲」を示した境界線。気候変動、生物多様性の損失、生物地球化学的循環、海洋酸性化、土地利用の変化、淡水、オゾンホール、大気エアロゾル粒子、化学物質による汚染の9つのプロセスが提示されている。



Taskforce on Nature-related
Financial Disclosures